

昭和59年8月25日（土）

一日早く小屋に来ました。明日から小屋合宿が始まります。今年は小屋前に頸城に行ってくるはずだったんですが、焼山の活動がまた差簡易なってきたということで中止になってしまいました。岡田さん、丸山さんだいじょうぶだったんでしょうかねえ……。そんな訳で暇になった（本当のところちっともひまではないが）のでチャリンコで来ることにしました。マジに「やろう」と決めたのは出発前日でしたけど。24日午前0時に下宿を出てR16を通過して入間市へ行きそこから東松山を通過して熊谷にでました。あとはR17で高崎、そこからR18で妙高です。

はじめの予定では丸1日かかってその日の夜遅くにはここに着くことになっていましたが、膝が痛くて自転車に乗ってられないような状態になってしまったので仕方なく上田のもう少し先にある上山田温泉というところに1泊しました。温泉とはいっても民宿が無かったのでビジネスホテルにとまったのでまったく温泉に泊まったという雰囲気はありませんでした。

次の日（つまり今日）バカになったひざをなんとかだましだまし、ここまでたどりつきました。杉沢からは半分以上推してましたけどね。それであの坂をテクテク歩いていたらうしろから「ピッピッピーッ」というクラクションの音。なんと川辺でした。彼は今朝早く家を出て愛車ラクーンでいくつも峠を越えてここに来たんだそうです。だから今晚は2人です。とても静かだけどガガ非常にうとうしい。何とかなんないかなあ……。それにしてもダイヤモンドコースに行った辰馬氏以下4人はどうなのでしょう。今日はもう小屋にいるかと思ったのですがね。

下の柱、見事に折れてますねえ。これからどうするか。非常に頭の痛い問題であります。再建のための悪寒を集める前に維持のための金集めで苦勞するなんて……

武藤さん吉田（剛）さんゴミ掃除ありがとうございました。明日から小屋合宿。この小屋もきれいになることでしょう。では。

昭和59年8月26日（日） 12:40～

小谷温泉—金山—焼山—火打山—妙高山—燕温泉、のはずだった。私も左の大村君同様、妙高のP.W.がつぶれて残念に思っているところです。約10ヶ月ぶりの山行にむけて熱心にトレーニングを積んだ上、ニッカボッカを新調したばかりでした。

小致死先に逆コースをのぼったOBムトウさんのお話では静かなお花畑が広がっていたそうで。上り下りはきつそうだけれど、妙高から見た小屋とか高谷池付近の失言とか妙高の火山地形などなかなか楽しみに

していました。

学生最後の夏休み、山もひとつも行かずに……。もう秋風の吹き始める小屋合宿となってしまいました。4年の夏なんて、随分中途半端なもんです。

現役の皆さん、行けるうちに沢山行ってくように。

どうも最近私のつくPWや山行は天気が崩れたり潰れたりするようでこの小屋合宿もそういうことがないようにobserverでいようとおもいます。

明日は毛利君と苗名滝の上のトンネルを走破してこようと思います。東電分岐にたどりつくなか？

小屋の柱がまたずいぶん激しい俺方をしたようで我が子を傷つけられたように、胸が痛みます。

下級生の皆さん、今年的小屋をよろしく願います。私も4年～OBとして出来る限りのことをしたいとは思っています。

25期 高橋みち子

みんなが、小屋の整備をしているわきで、チョロチョロ手伝ったり遊んだりしています。今はその暇を利用して、ちょっとこのノートに。

1年生のみなさん、小屋の感想はいかがでしょう。山小屋の鏡の脇には、妙高山の地図が貼ってあります。せつかく妙高まで来たのですから山小屋を整備するだけでなく（また、冬にスキーに来るだけでなく）、小屋の周りを取り囲む自然に興味を持ってみるのも良いと思います。

やはりこの小屋をたてたOBの方々もこの知を選んだのにはそれなりに素晴らしい自然が周りにあるからなのです。

ちょっと興味をもったら、妙高山の5万図を広げてみると、結構いろんなことが分かって楽しいし、また「妙高山」の地図は、他の地域に負けず劣らず魅力的なものです。

まず、妙高山は大きい。火山地形で、赤倉～三田原などの外輪山が妙高山の周りにはっきりしている。そして妙高山のピークと外輪山の鞍部には、池や湿地があり、沢もそこから出ている。天狗の庭付近も湿地帯で、花々も多そうである。何と言っても、この、妙高～火打～焼山～金山～雨飾山（これは「小滝」の5万図）の頸城アルプスは山々が静かである。2年前のPWに行った人達の談（現、小屋委員長の辰馬氏etc）をきくのも良いでしょう。やまのふもとは湿原も豊富である。

みんなが良く行く笹ヶ峰は、沢がいくつも集まる場所である。この豪雪地帯の雪融の水が笹ヶ峰ダムに集まり、そこから流れ出てその豊かな水量は川底をどンドン削ったようだ。関川のまわりの等高線は密だ。

1年生は5月の苗名滝を見たでしょうか？滝のスケールの大きさも、冬、春にこの小屋に来てみると納得します。やっぱり、雪なのですね。

地図でこの小屋の一が分かりますか？「シブタミ川」

の「シ」の字あたりになります。ちょうど苗名の北の断崖を登ったところになりますね。このチョロチョロのシブタミも滝に通じているようですね。まだ南側には黒姫山もあって興味は尽きませんが「戸隠」の地図なので、興味のある人は買ってみると良いと思います。私は昨年夏、戸隠に登りましたが岩ゴツゴツのなかなかおもしろい山でした。けれど、何と言ってもやはり「妙高山」を買うことをすすめる地図です。この小屋を整備するだけでなく、どんどん利用して、このまわりのやまやま、自然に出かけましょう。

25期 高橋みち子

今朝は雨が強く整備は午後からとなりました。とは言っても、結局一日中小雨の降るあまり好ましくない天気でした。雨のお陰で明日も働かねばなりません。早く「酒池肉林」を味わいたい。

昭和59年10月27日

現在小屋には25th毛利、26th川辺の両氏と私の3人です。本日小屋のカギ、おれた柱のことで3人だけ有志がてつ夜で夜の18号をやってきたわけですが、カギは小屋の中にあり、柱も手を加える必要が無いと言うことで、毛利氏の車で野じり湖、いもり池、笹ヶ峰のダムという所に初めて行って参りました。また、本年、夏休みのまぼろしのPWの最終下山知、燕温泉に行って参りました。野天風呂が2つもあり、大変良いところでした(今、クモを殺した。)ぜひ山に行った後に風呂に入りたいものです。Memberについてくれた6人には申し訳なかったけどあのコースで最後に野天風呂というコースでぜひPWなり合宿を成功させてください。

26th 坂田

P. S. あの風呂は少人数で行った方がよい。

昭和59年12月12日(土)

21日の夜行が4~5年ぶりして帰ってきました。会社の若い人間達と一緒にしてもらいました。今回やはり、ザンゲルの山小屋生活、ひとときはいい、と再再、痛感しつつあります。何がいか。

1) 全く、山とか山小屋生活については門外漢の人達とっしょに来たんですが、普通なら呆然としてただただ感心して(寒心して)様子のみてるだけかなと思ってたんです。ところが非常にハシャギにハシャイデ、仕様がな。まるで、少年少女の林間学校なんです。今も、夕食の寄せ鍋の準備を女性陣がしてくれていですが、普通のsy奥歯での仕事での表情、体たらくとは、まるでちたうんです。

やはり、なえな小屋というのは、よく理屈じゃ分か

らないですが素晴らしいです。

2) 現役時代は、冬や春でも、トレースがつけて山小屋に入るのがさほど苦じゃなかったと思います。しかし、今回はトレースのつけたこともあって、結構きつかった。否、きつく感じた。他のメンバーにとってはなおさらだ。なかなか、もう一度来ることができないでしょう。やはり、ちょっと苦勞しないと入れない山小屋じゃないと秘境とか郷里とかいった感情を自然に抱けないと思う。今回来たメンバーより一言(山小屋への感謝の気持ちをこめて)

20期 西田雅典

始めます。字は誤字です。始めまして みちるです。手がかじかんで書けない。現在四捨五入して20才です。募集してます。なにをよろしく。西田先生に感謝の気持ちを書くように言われたので書きます。どうもありがとうございます。わりばしほとんど使っちゃってすみません。

若い労働力があると聞いて来たのですが甘かった様で水汲みしました。久々に俗世離れて、いいもんですね。寝不足と寒さで身体バラバラ。どうもお世話になりました。

永田

久しぶりに(初めてかな?)電気・水道のない生活を体験しました。たまにはこういう暮らしをすることも必要だと感じましたが、それにしてもどうもお世話になりました。

中谷

大自然を肌で感じました。やはり、つらくてきびしいものです。初めてシュラフにねてみましたが、いも虫になった感じと、とてもさむかったのが印象的でした。でも、あのすばらしい風景をみて、また機会があったらきたいなア!とおもいました。佐々木

追加 2名 シュラフの中はまさに真冬でした。

井上しづえ

川原林 晴美

P. S. ①井戸のバケツが行方不明だったので倉庫にあったバケツを井戸のフタの細引きにつけてこれで汲みました。悪しからず。

昭和59年12月28日

冬のスキーに来ています。総勢約20名。やっぱり小屋は寒い。もう昔のような若さはなく寒さがこたえます。今年は雪が少なかったみたいですが、ここ1週間くらいでずいぶん積もった様です。きのうも今日もずっと降っています。1年生には初心者もいて、みんな「今日は滑るぞ!」と張り切っています。ほとんど明日の夜帰っちゃいますけど・・・。今年はここで年

を越す人がいるのでしょうか？そのうちここで正月を迎えたいと思ってますけど、今年はだめです。みなさん良いお年を。

26th 大村泰宏

昭和59年12月29日

現在小屋にいる人間は、1年 岡本、山本、直井、松本、小久保、中西、黒川、井口 2年 伸介、元、3年 辰馬、ガメ、坂田、大村、川辺

以上の編成で雪すかしを行います。ただいま「のき」と雪のきより約1メートル。このままでは昨年に続いて雪すかし隊を出さねばならなくなる。今、雪をどけよう。

私が27キ主将の池のです。僕の頭はβ頭とされています。

と次期副将の遠藤伸介君が言っておりますが・・・実は彼はチャリンコで転んで耳をつぶし、トンネルで頭をぶつけて5針縫い、1年の時の優が「2個」というギネスブック並の人間です。とにかく27期をよろしく。

27期 池野

今日は3人しかいない。24キ早川恭二さん、26キ坂田将美さん、27キ遠藤勝哉（通称伸助）

Suntry White を飲んでちょっと静かで淋しい気もするけど、今年は何故か雪が多量に降って雪下ろしが大変でした。男が3人で食料がまるではありません！

早川さんがまた上の期の悪口を話しています。

早川さんが自分が（←ウソだ！）働き者だと言っていました。本当でしょうか。

27キ 伸助

八ツヶ岳。（黒百合～赤岳鉱泉）の帰りに小屋に寄った。八ツも小屋もすごい雪でメゲテル。冬山の後の小屋は温かい。やはり小屋はテントなんかよりずっと落ち着く。数年ぶりの大雪で、後で小屋に入る人は雪下ろしに精を出して下さい。正月過ぎに入る24キの人々、あまりニヤつかないようにな。24キKyoji

12月30日

またまた早川の登場です。今朝AM9:00に起き帰る準備をしている所です。きのうの晩は伸助と坂田と酒をのんだのだが俺は疲れが蓄積していた為、コタツで寝込んでしまっていて目の前が真っ暗でパニックになってしまった。

さっき、今年の8月の小屋日誌を読んだが岡田に丸山は全くくだらん事を書いている。オレがいない所で君たちはそんなくだらない会話を交わしているのかね。もし正月に君達が小屋に入るならあまりくだらん事はしないようにそうでなくても特に丸山の行動に関して

は後輩から「勝手にして下さいよ！」との声が飛び俵ってますよ。オレは一応スキーをしに来たのですが小屋でのんびりしてるだけで今日はサンアントンによって帰ることになってしまった。

24キ 早川 PM 1:00

昭和60年1月1日

(AM9:00~1月3日10:00)

Tくん(トシチャン)とMくん(マッチ)は新雪の中、ランセルの汗を永ういてやって来ました。(M君も汗をかくという客観的事実)。なぜかT君はセカンドのくせに大汗をかきました。T君一言「冬道のつくり方が悪い！冬道はミラーのところから作れ！ついていたシュプールはよくな！」。T君とM君はカギを持っています。なぜならば五八木のおっさんが言うには「いやあ～現役の諸君がね、カギをなくしてね～。逆側から入ってくれ。至急電源開発送電室までTelください。ただし、転勤したら東京にはいません。その時には送電室M嬢にまで手紙を)

小屋に入ってから的一幕

M君「きたね～、なんだこれ！」

T君「どうした、どうした」

彼等の目の前に広がった光景は

- ①フトンがしきっぱなし
- ②ゴミはちらかっぱなし
- ③コタツはかたづいてなかった
- ④ナナベの中に得体の知れない液体が凍っていた
- ⑤レンタンはガスが入ったまんま

e t c

ここで一言「次に来る人の為に、少しはきれいにしていこうよ！」とちょっとこじゅうとめいたT君とM君でした。(T君とM君は現役時代からうるさいことでは有名でした。)

T君とM君が何故この小屋に来たのか？・・・かれらの目的は何なのか？それをさぐってみましょう。

調査する前の事前予備知識

- ・2人は一緒に来た（手段：T君の地球車）
- ・2人が来たのは正月3日が日である。
- ・2人には特定の女性はいない。
- ・2人は経済的に苦境にたたされていた。
- ・2人は酒が好きだった。
- ・2人は沢山御友達を誘ったのに誰も相手にしてくれなかった。
- ・2人はお互いに心の中では相手より自分は勝っていると信じ切っていた。
- ・2人は将来同じ仕事をする可能性もあった。
- ・2人の内1人はおNewのSKIを買っていた。
- ・2人の内1人は恋いに悩んでいた。(もう1人は悩む相手もいなかった。)
- ・2人の内1人は自分のことをトシチャンとそっく

りだと思ひ、もう1人はマッチにそっくりだと思っていた。

- 2人の内1人は相手のことを伊東田部だと思ひ、もう1人は所ジョージだと思っていた。
- そのような2人が連れだって2人でこの小屋に来た本当の目的は→

T君ことトシチャン: 寺島一希 (実は伊東四郎) は、新しいスキーを新調し、来るべき社内スキーツアーで若いピチピチしたGalにアタックすべき手はずを整えに来た。(カズの声) 持病の腰痛が、スキー及びアフタースキーででないように注意して!

M君ことマッチ: 武藤秀二。別名: 武藤C作氏 (実は所ジョージ) は来る60年の活動方針をまとめてやって来た。その活動方針とは

- i) 社会人としての自覚を持ち日々是決戦の意気込みでがんばろう。
- ii) あの子に今度言おう……。 「会えなくてもいい、便秘だけあ治しておけ。」
- iii) 再びあの子に今度言おう……。 「就職祝いを早くくれ!!」

以上のように彼等は自分の幸せをつかむために、相手を利用しようと思ったが、まったく無駄であった。

ファンレターあて先

トシチャン: 千代田区丸の内1-8-2 第二鉄鋼ビル内電源開発(株) 工務部送電室

マッチ: (予定) 市原市八幡海岸通り6番地 古川電工(株) 守衛所主任研究班 特捜最前線担当

昭和60年1月4日

正月だよ。武藤功二、西岡善夫、浜田晃爾、中村智津世、予澤和美(山武ハネウエル4人)、(IBM1人) 久しぶりに冬の小屋に来ました。会社の連中をつれて来ました。いや〜まいった。買い出しをしていたら時間がなくなり等2, 3ゲレンデを登って小屋に入りました。等3ゲレンデ上でガスられて迷ってしまいました。山武ハネウエルさん 山部伊勢原支店より。

20キ 武藤

私は言いたい。20キの武藤さんの「だいじょうぶだ」には注意しよう。実は私はムトウ氏のだいじょうぶを信用してソウナンシそうになってしまったのだ。買い出しをして時間がかかり第一ゲレンデしか動いていないナイターの時間になったのだ。第一リフトはナイターやっていたのでだいじょうぶ。第二リフト第三リフトは動いていない・・・

昭和60年1月4日

西岡君でえーす。この小屋は2度目です。全開と違って(前回は雨にたたられて全くスキーができなかった) 存分にスキーを楽しめると思っていたのに、スキーは今回もほとんどやっていません。全ての責任は20キの武藤さんにあります。どうもムトーさんと行動を共にするといひことは無いようです。

昨年は個人的に色々ありまして、何もできませんでしたが今年は良い年になりそうな気がしていたのですが出足でつまずきました。でもこれにめげず今年はガンバります。前回は6人で寂しく寒かったことを覚えていますが今回は人数も多く暖かくしあわせな日々です。皆さんIBMのcomputerを使用しましょう。パソコンもあります。5550そしてJX、そうです私はIBMの社員です。

それではまた会える日を楽しみに、現在26歳で独身ですが次回登場するときは違います。山武ハネウエルもよろしく。武藤君も西田君も元気です。

昭和60年1がつ4か(ふらいでい)

ふぶきでした。「ごめんなさい」……。といきなり! 2日後に誕生日をひかえて山小屋での2日間を思いっきり楽しんでます。いやーそれにしても、すごい! 山小屋であんなにおいしいボンカレーが食べれるなんて……。あんなに超おいしい豚丼が食べれるなんて……。!そして、何と言ってもしらふ……。いやシュラフで眠れるという。すっすっすごい!! 人間がみの虫くんの様にみにくるまって眠ってしまう。うーん! ちなみに私はいつもうつぶせにねるのでシュラフで眠るということに抵抗がありました。鼻がつぶれてしまう……。が、その悩みもなんのその! しっかりイビキをかいて眠ってしまったという。しかも、自分のイビキで目が覚めてしまったという。すごく、小心者の私でした。今日も、また、思いっきり〜。もう、明日帰るのです。あっという間に夢にまで見てうなされた(?) 山小屋での生活とのBye-Byeです。もう、ゲレンデまで5分しかかからないという、誠に楽な(?) 山小屋まで必至にエッコラエッコラ、ゼーゼーして歩かなくなってしまうなんて、なんて残念なんだろう……。 (ホッ) というわけで、今回の山武山小屋ツアーで判明しました。スキーというのは上から下へ滑るのはみせかけだけで、板をかついで雪山を登るのがスキーの真ずいなんだと……。それと第三リフトのおじさんは、ちょっぴりいじわるでした。というわけだ。ジャン、ジャン!

山武ハネウエルCM技術部第一課 平澤和美(20) でした。

昭和60年1月5日(土) 大雪

1/3からこのすばらしい山小屋に来ていますが、この3日間で私は2度と無いだろうと思われる体験をたくさんしました。(。。。再びこの山小屋に来れば別

の話ですけれど・・・)それは・・・電気のない生活、水道の無い生活、まるで冷凍庫の中でも生活している様なこの寒さ。とってもおいしい(?)食事、などなど。水というものがこんなにも貴重なものだとは知りませんでしたし・・・もうこれからは何でも食べられそうです。今回は一体何をしに妙高まで来たのでしょうか。来る前は「おもいきりスキーをしよう・・・」と思っていたのに。3日間も来ていて、ほとんどスキーですべらずに登っていたという・・・あーはやく文化的な生活がしたい・・・でも、とってもすてきな思い出となりました。みなさん、どうもすてきな日々をありがとう！ 以上仲村でした。

昭和60年1月3日～1月5日

今、ほりごたつを囲んで下のような人々がいます。このようなメンバーですから朝起きるのは遅いし、炊事を全くやらない生活でした。食事はサンアントンで超大盛を楽しんだ。「とある女教師」をはじめとし、みんな大盛で(私は人にあげましたが)たらふくたべて、一日一食ちゃんと食べ、夜はつまみにおかし、朝はもちやパンを食べていました。みんな(1名ぬかして)社会人なので真面目に社会復帰したかと思いましたが「現役」の影響が強く、話題がつつい下ネタにはしてしまうという現状でした。(私はついていけない)しかし、社会にでてからもこのふんいきが体ごとしみついて、まわりから「変な人」と見られているひとが若干いるようです。三つ子のきょうだい、とある女教師とちかぼーがそうです。

サラリーマン丸山氏は語る「なぜ松下のうんこの断面は長方形なんだろう」。もっと正確な図は・・・。

昭和60年1月5日

この、すばらしい小屋で2晩とまりました。今日、かえらなければならないと思うと、とてもさびしい。こんなすばらしい山小屋をもっているワンゲルのひとりらやましいな。また、お友達佐々木さん(女教師)につれてきてほしいな。

とある OL 横山周子

(横山さんはずるい!!まるで一般人のOLのふりをしてワンゲルとは関わりたくないような書き方じゃないのおー。)

横山さん 相変わらず大地を踏みしめて歩きます。

決してOLではありません。(実は有能なエディターなのです)

松下さん いつも〇ちの話ばかりしていて現役らしさと××くんの影響をにじみ出していました。

彼女は先輩をなめています。

私はその先輩なりの対応をしているだけです。

浦野さん 相変わらずギャグを飛ばしながら誰にも理解されておりません。(この高感度にみなさんついていけないようです。)でも一人でふにやらか笑って満足げでした。

丸山サラリーマン(今度脱サラしてきこりになるそうです。潜在的きこり男。先天的脱毛症) この人も相変わらず〇ちの話ばかりしていました。M嬢にさんま蒲焼きパン、チョコレートコーヒー、マヨネーズベトベトパン、かまぼことさくさいのおせちサンドなどを作ってもらい「こんなものくれるかよー」と言いながらニコニコ全部食べておりました。

岡田会社員 簡単な似顔絵を少しは複雑にしようと3250円のパーマをかけ、くしで髪をとかしては1人でおりました。

OLD Lady Majo 佐々木 社会人となり、一段と落ちつきを増して参りました。こんな汚い山小屋生活なんて、わたし、もうたえられない。泣いちゃう!!

とある女教師。Majo Majo Majo

去年の暮れは、おせち料理作りに、そうじに、バイトに専念して、やっと解放された私ですがここでもやはり諸先輩方につくす2日間でした。全く寛大な先輩方達ばかりで1時間先の事さえ計画をしないで、今もこれからどう行動するかきつと誰も考えていないでしょう。ただ言えるのは、今、浦野雅代さんが歌を唄っている。周子さんが歌集をバラバラめくっている。女教師が時刻表を見て疲れている。その他は寝てる。これが現在の状況です。

昭和60年2月9日～2月11日

22キスキーツアーを開催いたしました。

全員に参加をよびかけたのですが、なんと参加したのはたったの5人でした。5人はお互いに顔を合わせて「やっぱりおれたち、ヒマなのかな～」という感じ。いやいや、5人中2人はヒマなのではありませんでした。2人は独身生活最後の旅行に来たのでした。

さて、その5人とは・・・

- 結婚しても鱒を書くのはやめないぞ・・・と言っている津江君・年内中には結論を出すんだ・・・と言っている鴨志田君・黄色いワーゲンのバッテリー的心境の・・・思わずスキー特訓中高橋君・本スキーツアーの仕掛け人、参加者に女性がいなのは、この人のせいではないかと直接的な非難を受けている・・・迷幹事、発起人の寺島君、でした。それでは日記調で、生活のひとまくを紹介。

2/9(土)・・・1日中雨でした。スキーどころではありませんでした。思わずサンアントンにず～っといました。

2/10(日)・・・まったくの霧でした。ゲレンデはも

のすごい混雑でした。1時間弱待ってゴンドラリフトに乗りました。夜はおんちの2人の歌で思わず酔いがさめてしまいそうでした。

2/11 (月)・津江君と高橋君は忙しい飯降をして朝の列車で帰ると言っています。残の3人はコタツから出そうにありません。今日はものすごい雪です。ラッセルのことを考えると、先発隊の2人もついつい消極的対応を示しております。

昭和60年2月11日

いやあ、大自然の中の山小屋で一夜を過ごさせてもらい感動致しました。何故津江氏や丸山氏が社会に出て3年もたつのにサラリーマンになじめないのか(これはおちこぼれという意味ではございませぬ・・・) わかったような気がします。偉大なる彼らの傍らで私もいっしょうけんめい頑張っておエリートサラリーマンを目指します。キャプテン寺島氏、ティーチャー鴨志田氏、中丸バンカー氏、津江バンカー氏、いやあ、ワングルのOBは一味違うねえ。変態ばっかし。楽しかったですな。しかし、今度もまた来るようなチャンスがあったら、必ず必ずオ、オンナの子がほしい。う〜む、ねてみたい。ではまた会う日を楽しみに・・・。

東洋信託BK 津江氏友人
高橋義人(26歳独身)よろしく。

お久しぶりです。22キの津江ドス。苗名小屋でのクソも非常に快調で1分15秒位で全行程が終わり、気分良く帰るところです。いや〜、小屋は良い。昨夜は男5人の何とも色気無い夜でしたが、下界のストレスを一気に発散させるべく大騒ぎしました。

尚、私事ではありますが、この3月31日に同じ22キの成田祐子氏と結婚することに相りました。20キの西田氏と同じ22キの佐藤あつ子さんと、合同ワングルOB現役大騒ぎを3/31 pm6:00~9:00(場所未定、養老の滝みたいなどころ)を予定しておりますので、おひまでしたら来て下さい。幹事は20キの岡本氏と22キの寺島氏です。おって連絡いたします。結婚しても嫁は残して一人で来るぞ〜
22キ 津江真行(Banker)

昭和60年2月11日

山小屋は僕の心の故郷であります。2年ぶりに来ました。22キ皆なで来ようって昨年より企画したのですが幹事の役不足でメンズツアーになりました。が、しかし電気もない雪の小屋の中で男五人語り合うのは大変ケッコウなことでした。私、今年中に転勤になるかもしれない、当分の間これないかもしれません。折りをみつけて、今度は彼女をつれて、二人で来たいと思い

ます。マア、寺島も僕も無理でしょう。P. S. 食事を持ってきたのですが、作る根性なくなったのでご寄贈いたします。

- 1, プリマハムハンバーグ 5個
- 1, ボンカレーファイブスター 4個
- 1, チャルメラミソラーメン 2個

以上

22期 たくぎん 横浜支店 中丸

昭和60年3月3日~3月5日

柏木、小佐野、竹内(25th)、小宮(26th)上のくいものありがたくちょうだいしました。

超芸術的トマソンの発想にもとづく雪切りの術
今、小屋のてっぺんには1m近い雪のかたまりがのっている。これを落とす方法を竹が考えたのでひまな人は実験してみてください。

まず対角線上に2人立ち(A、B)、ウエストロープ3本くらいつなげ、その先におもりを付けた物を片方が片方へ投げる。雪のかたまりの上を通るようにする。そうしたら次にA、Bでg8イコギコひきあつてかたまりをじょじょに切断する。次にC、D上に立って同じようにする。それでかたまりはおちやすくなるのである。バンザーイ。ハッピー。

ヒデジは今頃ニュージーランドである。私はヒデジに会いたかった。ヒデジーツ カンバーック。

NEWS ・ココア1箱、置いてゆきます。
どーぞ 使って下さい。

1年ぶりでスキーに来た。しかしスキーは全く上達しない。なんということだ。1年の頃は4年にでもなればギャルとペンションでスキーをしているんじゃないかと思ったら、この現実。現実は厳しい、差mぬい。今回私はまったく働かなかった。でも、他の3人のメンバーからは「太陽」といって尊敬されていた。私どもは驚異帰ります。ではサヨウナラ。

P. S. 教育学部4人衆の今後
竹→運悪く般教1つを落とし再び3年生か
小→無事卒業するも就職無く塾屋になる
柏→頭が爆発し入院、しかし・・・秘
シラ→4年に進級するも中退し海賊になる。

とつても貧乏な教育でした。

By 柏木(25t)

昭和60年3月16日

今、私は小屋に一人です。現在ワングルは遭対合宿中。みんなスキーツアーに行っており、私は一人留守番本

部をやって小屋に残っております。3/14から小屋に入りず〜とガスっております今日は初めての晴れ、それも日本晴れ。それなのに私は小屋に一人でくすんでいる。なんてはまっているのだろう。現役は全員元気にやっている。

27キ 伸助

昭和60年5月4日

去年に引き続き5月連休山小屋に来たぜ。今回は宿泊無しでちょっとあそびがてら立ち寄ったわけでこの前この連休に現役が来ると言うことで期待して聞け土なお出かけの最中みたいだね。

今回はテニスツアーという事で会社のテニスチームの仲間と来ています。ペ、ペンションなぞという華麗なる言葉とは裏腹にいつもの調子ですね。場所は新赤倉「ブレバーク」雰囲気、設備はピカ一、天気は最高で1日6時間くらい頑張っている。

さてメンバー紹介。一期上の田村氏、2期上の山川君（期はあくまで会社の期）がギターの競演。その他は（安部君、桜井君、酒井君そして紅一点加藤嬢）ゴロゴロとねて本を読んでいる。3年前のサンデーがあるなどと喜んでます。

ついこの間メーデーの日はアホのアブと久々に大学のキャンパスそれもあのこ汚い部室におじゃまして、現役諸君のお世話になりました。

みんなビールはうまかったろうね。俺なんか車の運転で一滴も飲まなかったんだぞー。アブ（安武）はいい気分であることないこと言いたい放題！冷静に彼と現役諸兄をみていたけど。

おそらく現役諸兄は彼の状態を見て「僕たちはまともなんだ」などとホッとしたことだろう。

また来年の連休あたりに彼女2人きりで来たいけどいい子はおらんかね〜

それにしても根気の29キなど聞くといささかおどろくけど私は20キ。現役に負けずいまだおかしな連中ばかりだ。そう、20thは不滅なのである。今度またなにかの於呂にワングルの会合にでも顔を出すことにします。

ここは静かで良いところです。

乱筆乱文支離滅裂

20th 水田徹（もと 山小屋委員長）

追伸、去年の連休にこの山小屋に連れ来てきた会社の後輩浅見靖君と下田悦子さんはこの山小屋が縁（？）で来春結婚することに決まりました。なのでここに御報告したいと思います。詳しくは日誌No1984、5/5〜5/6の部参照。

昭和60年5月4日

ワシラ25thのOB3人（永田、阿美、斉藤）は朝10:00に東京の杉並を出発。中央高速からミーハーギャルの多い清里を通って無事7:00pmに小屋に到着。暖かい後輩の激励を受ける物と期待してドアを開けたらダレもない、ショック！

30分たった今もダレもない。後輩はドコに消えた。暗く酒を飲んでいる。

早くかわいい一年の顔を見たいのにどこに行ってるんだ。怒りがこみあげてきた。

永田

昭和60年8月7日

おはようございます。汚い紙くずの山の中からこのノートをひっぱりだし、楽しく読ませて頂きました。でも記憶にある名前は20キの水田氏、西田氏、武藤氏22キの津江氏くらいで、あとのお若い方々はトンどわかりません。といっても19キの人々の消息も今ではなかなかはっきりしておりません。

中島君5/25 多分あの美代子さんだと思いますが結婚しました。K介くんオリちゃん 二人目をみごもっている（産まれたかな？）大橋さん（旧姓ヨコミゾ）赤ちゃんをうんだと思います。松田さん（旧姓日比）私と同じ下和泉小で日々聖職に励んでいます。私は3/30にやっと人並みに結婚して小松になりました。山小屋は5年目です。あとは一体何年後にこれることやら・・・。

P. S. 17thの穴山さん（現 長谷川さん）にこの前戸塚にて会いました。戸塚区の図書館におつとめだそうです。

19th 小松真弓（旧姓中村）

相変わらず一人でのんびりしていますが、昨日5年ぶりに来たというのに小屋は年月の変化を感じさせず、まるで静止した時間の中にポッカー浮いているような不思議な感覚でした。そういえば5年間に来たときに読んだサンデーがそのままありましたってすげー・・・。

五八木荘で鍵をもらった後、岡田氏がついでだからと小屋の前まで車で送ってくれたときは、これはついていると思ったのですが、かんじんの鍵がどうしても穴に入らなかった時はショックで呆然といたしました。雨戸を開けて入れたときの喜びもひとしお。でもこでは不用心ですね。

本日、これより、黒沢池ヒュッテに行き、明日は妙高に登って五八木に降りる予定です。ではまたいつの日か来ることを楽しみにして、さようなら。

H. Tueki

昭和60年8月22日

久しぶり1年ぶりの山小屋です。思い出が一杯のこの
なえな小屋は、一步入るとなんか学生時代に戻ったよ
うです。何もかわっていません。

今私は上越に少し滞在しており、今日はん一笹ヶ峰
に行こうということでブンブンと飛ばしてきあmsた
(約1:30)。現役のとき1回も見なかったイモリ池
で少し休憩した後ここまで来ました。だれかいるかな
ーとほんの少し期待をもってしっかり鍵のない戸を開
けてきました。(すいません) がらんどろ。(ひとりぼ
っちさびしいよ) あーあと10日で2学期が始まって
しまう。2,3日したら横浜に帰るつもりです。では、
笹ヶ峰にちょっと寄っていきまーす。

YWVの皆さん小屋掃除大変だと思いますが頑張っ
て下さい。特にきじくみ隊。きじで思い出すのは23
キの吉田君。ちゃっぽんちゃっぽん歩くたびにぎーパ
ンのすそにきじをいっぱいいたらしていたっけ。そうい
う異大な先輩もいました。今年のきじのはかほどのへ
んになるのでしょうか。

来年もまたくるかもしれません。あ え
鶴見区矢向中 美術のセンs!の絵と文でした。

昭和60年8月24日

裏銀座のP. W. が終わって、1日松本でウダウダし
て、一日早く小屋に来ました。P. W. は腫れてとっ
ても良かったです。小屋後の穂高でも晴れるといいけ
ど……。今、坂川君がブチブチ言いながらガの退治
をそえています。坂川と2人で広島一巨人のナイターを
聞いているが、さてどっちが勝つやら……。ちなみ
にオレは広島、坂川は巨人を応援しています。

28期 山本先隆

昭和60年8月26日

小屋合宿が始まった。自分はペンキ係で、ペンキをぬ
っている。天候が不順でいまち心配だ。自分たち27
キは最後の合宿で、あんがい感慨が深い。今年の勝つ
合宿は北海道大雪で、何も起こらずま〜成功だったか
な。これから1年ばかりの大学生活Enjoyしたい。

27th 遠藤勝哉

追伸:今年の1年は29thでかわいい連中。また、
もうすぐ執行部をとる28thもたのしくたのもしい
連中ですので、OBの皆さんよろしく御願ひします。

8月26日

2年生は2階で2年ミーティングをしています。下で
は3年と1年が暇そうにゴロゴロしています。僕は遠
藤幹といい、鎌倉の寮に住んでいます。なでか、いま
4年です。しかし就職しません。まだ2年くらい部室
にいますからOBの皆さん気軽に話しかけてください。

27th miki

昭和60年8月28日

今、7:54です(朝)。先程ここに到着したのですが、
小屋は静まり返って皆帰った後なのか・・・と一瞬戸惑
った程です……。が起床が9:00だそうできや
しいから騒ぎました。そしたらおこられました。だから
隅っこでこれを書いています。先輩たる運命でしょ
うか……。つらいわあ……。連れはワラです。
最近気付いたこと……。世の中のロクでもないモノ
→「ワ」の字です。ワングル、カシワギ、ハヤカワ、
フジワラ 26キ 松下
(松下よ、じーさんやワラと一緒にしないでくれ)

昭和60年9月2日

昨日、長野まわりで小屋にやって来ました。私はまだ
学生と言うことで、アカデミックな一人旅を続けてい
ます。小屋には人の気配はまるでなく、「ガ」が数匹、
ローソクのまわりをばたばたと飛んでいる程度です。
今日はこれから笹ヶ峰まで行き高谷池あたりまで登っ
てみようかなと思っています。小屋は現役が整備して
くれたとあって、とてもきれいです。ご苦労さま。

ではまた

25th 柏木

昭和60年10月16日

27th伸助です。なななんとL養をさぼって小屋に
来ている非常に悪い3年生です。といってもL養は予
定でいけなくなってしまい(ちゃんと理由有り) テス
ト休みヒマだから学科の友人田中君と旅行(車で・・)
し、金がないから小屋に1泊することになりました。
はっきり言って寒い寒い外は雨、まるで西麻布みたい。
なんと言っても穂高を生まれて初めてワングル3年目
にして見てしまった。はっきりいってカッチョイイ。
自分も登りたくなってしまった。へへ。L養は無事下
山したかな!!以上

27th 伸助

昭和60年10月17日

先程遠藤君の紹介にあった田中です。

昭和60年11月18日

「かんきり」が無いじゃないか!つまみのかんづめが
食べられない!今日は横浜から10時間以上かけては
るばるやってきました。 松本

24th早川です。28th27thの後輩の運手で
連れて来てもらった。1年ぶりの小屋だけどやっぱり

いいものですね。24thのあの田沢が今年の12/15に結婚、そして来年には子供が生まれるそうで、嫌がおうにも歳を感じる今日この頃です。こっちはまだ社会人にもなれずうだうだしていますが、体だけは一応元気です。今も結構山に登ってますので山で会ったらよろしく。

静かな秋に

26thの千田です。酒を飲んでます。昔の話をサカナに、酒を飲んでます。雑言、悪口、わらい声、他……。

小屋に夜着きました。小屋までライターの日で来ました。雨は降ってるし、道はぐちゃぐちゃだし、何の為に来たのか。私にはよくわかりかねますが、とにかく来ました。

昭和61年1月1日

が明けた！現在小屋にいる人……大津山（筆者）武藤23rd、竹内、古川25th、浜坂氏（古川氏の友人）といった人々の計5名がいます。私、筆者以外はみなコタツでねている。許せぬ！これかおこして忘年会に引き続いての新年会である！！サンゲル30期の聞きにならぬ1986年を祈って。

古川氏の友人の浜坂です。初めて小屋に来ました。とうとう1986年の元旦を小屋で迎えてしまった。そーとーひどい（下界から比べて）と古川氏から聞いていたが、期待したほどでもなかった。ちなみの私の下宿は最悪の状況ではこのような乱雑（失礼）はあたりまえである。氏の先輩の方々もいらっしゃるといことで、少々恐れをなしていたのだが、話しのわかる個性的な人ばかりだった。朝寒い！！ということを除けばかなり居心地のいい小屋である。また来るぞー

昭和61年1月1日 AM11:30

初めて正月を小屋で迎えました！小屋と言え雑煮は食べたし、カモボコ、ゴマメ、コブなどおせち料理も食べるというとても考えられない生活であります。信念を迎えてとてもおめでたいところなのですが、去年は日yじょうにショッキングなことが起こりました。竹内と食料の買い出しの為に輪姦コースを滑っているとバックから直滑降の兄ちゃんにやられてしまいました。一瞬目の前が真っ暗になり失神してしまいました。あまり痛くはなかったのですがしばらく滑って足をみると買ったばかりのパンツが切られていました。パットがはいっていた部分だったので皮膚までは達していなかったのが普通の部分だったら完全に出血間違いなしです。ぶつけられたころよりも買ったばかりのパンツ（¥23000相当）を着られら事に腹を立てたばく

でした。皆さんスキーにはくれぐれも注意ませう！！

竹である。私は25thである。長野の先生を目指している。今年で卒業である。ヒデジはソーローである。

（そう、わたしはソーローです、でも回数はこなせませす。きたいしてください）私はなんでこんなところにいるのだろう。わたしはだれだろう。今年は粋な自由人を目指そうと思う。だから今日からArtにいそしむ私である。私は今回10kgぐらいあるArtセットをボッカしてきた。油絵の具、イーゼル、キャンバス等。だから私は小屋の周りの絵を描きたいのだが、みんながプータラしているのだから外へ出る元気が出ない。外ははれている。日本の元旦はいつでもはれと相場がきまっているのだ。よってるぜベイビー。

昭和61年1月2日

再び竹である。ヒデジは来年彼女とくるそうである。これからみつけるなどとぬけぬけとウソこいている。これから私たちは帰るところです。けっきょく私はArtできなかつた。そのかわりきのうは雪上野球トラグビーをして、バカみたいに疲れた。ハードなトレーニングであった。みんなまねっこしよう。私たちヒデジと大津山さんと私は非常に残念であった。というのもこの冬小屋に来た1年がたったの3人でさいきんのワングルの人間関係は淡泊になりつつあることを私たちはワングルの危機的状況として憂いているのである。

ヒデジです。オレの好きなタイプ……

- 1, 坂口良子さん
- 2, 山田美佐緒さん（寺さんがだまっていなくていいよ）
- 3, ペンギン娘山室晴美さん（サントリーの企画部がだまっていなくていいよ）
- 4, なんにも仕事しない佐々木弘美さん（早川君がだまっていなくていいよ）
- 5, ダサイカネコさん（鴨さんがだまっていなくていいよ）
- 6, かわいい仙名祐子さん（兄キがだまっていなくていいよ）

というわけで、上記1～6をたして6でわった女の人が好きです。

なにをたわけたことを言うか 竹

昭和61年1月4日

私は22期の立浪だ。横浜を離れて4年、北陸に住みついた。一年間行方不明だった西田（22期）と小屋で会った。彼はアメリカに行って銃で遊んでいたそう。そしてカレーを作っていたそう。化工3バカと

呼ばれていたもう一人の為（22期）はカナダに行っ
てしまいバカやっけて子供ができたそうだ。山小屋
を愛する紳士淑女の方々、化工3バカはとにかく後指
さされながらも生きとります。OVER

昭和61年1月25日

大学が共通一次で休みなのでクラスの連中と3人で来
ました。今年は雪が少なくまだ2mくらいしかつもっ
ていません。ただ今-6℃。早くサンアントンに行っ
て暖かいメシを食いたい。今日帰ります。

27期 池野元

さむーーーい！

元の友達のとち

ここはさぶさぶ。なんでこんなにさぶいの。ギャルも
いないのによくこんなところに来たもんだ。

とちの後輩

昭和61年2月20日

試験とレポートが終わった関係で、ゼミの仲間とスキ
ーに来た。今日は珍しくど快晴ですが私の私何と2
日券を買ってしまった。いつもはもったいないから回
数券しか利用しないのに、さぞかしスキーは上達した
ことであろう。第五リフトの乗り場から、新雪の海と
なっており、我々は沈んでしまった。とても寒い。今
週の日曜には蔵王に行ってくるぜ。目的は当然ナンパ
である。

27th 中田

P. S. スキー焼けで顔とか首がとても痛い。そのぐ
らいサンアントンにいなかったのだ。

昭和61年2月20日

秋山くんで一す。妙高国際にはスキーに初めて来まし
た。はっきりいって単調なコース。急斜面もまったく
ないという始末。おまけにリフトはたったの10本。
でも景色の美しさには驚きました。まあ夏にハイキン
グをしながら来るのには良いでしょう。本日はワング
ルのおもちゃ、ステンマルク中田といっしょに来たの
であるが、彼のすべりはなかなか豪快である。ブレー
キをかけるときは雪けむりを人の10倍あげ、ころぶ
もときもゲレンデにぼこぼこちんぽのあとをつけ、お
まけにリフトまで止めてしまった。さすがである。こ
の小屋はワングルにとってとても良い財産だと思う。
もしまた機会があったら夏当たりに来てほしいと思
う。7:20蔵冬の中で

昭和61年3月8日

えーっと、井戸を掘ること約4時間、今年も井戸の一

には苦労しました。そこで来年からは一発で見つかる
ようにひもをはかっておきました。

Syoji Umeda

昭和61年3月14日

遭対合宿、雪上ツアー ともにぶじ終了。雪上ツア
ーで使った赤旗15本を小屋へ置いてゆきます。必要時
応じて使ってください。28.29期は今日で全員帰
ります！

Tomoko

昭和61年8月15日

14期 鈴木道夫

小学校1年の長女と2人で山小屋に来ました。実は燕
から妙高を目指したのですが、車のキーをつけっぱな
しにしていたことに天狗堂手間で思い出し、引き返す。
挫折！昼食のついでに小屋に寄りました。
学生時代のアコガレの彼女を思いつめて過ごした山小
屋に、小1の長女と山姿で来るとは何とも不思議な気
分だ。卒業して12年。

信越化学 直江津工場勤務

(ワングルの人 就職に困ったら来タレ)

すずきなおこ。

きょうおとうさんと、わたしで、みょうこうさんへい
きました。おとうさんがくるまのまぎをわすれてとち
ゅうまでのぼってとちゅうからかえりました。かえり
にわらびをとりにいきました。おとうさんは、わらび
をたくさんとりました。とてもおもしろかった。

昭和61年10月13日 梅田祥司 28th

小屋合宿は明日からだが一足お先に小屋に来た。やっ
ぱりここはさむい。しかも、バイクだからすごかった。
むぼーにも車道から小屋の前までオンロードのバイク
で入ろうとしたら、2回もコケてしまった。ウインカ
ーも、ライトもまがっている。今日は、僕の古い友人
の北畑と2人。酒をおいしくのもうと思う。北畑君、
ガスカートリッジ20本のボッカありがとう！

北畑祐康

今日は、梅田君と共にバイクでやってきました。バイ
クはさすがに寒い！でもこの辺は紅葉が美しいので良
かった。山小屋はよいですね！冬の落ち葉松林を歩く
かたつむりの様な気分です。

富貴名門の子女に恋するを純情の恋と誰が云ふ
路頭に迷える女性の恋するを不浄の恋と誰が云ふ
泣いて笑って月下の酒場に嫁を売る女性の中にも
睡蓮の如き純情あり

風吹かば 風吹くがよし

雨降らば 雨降るがよし

酒は飲むべし 百薬の長
女は愛すべし これ人生の無常の快樂なり
妖色美女の膝枕に快樂の一夜を過すは
夢夢し、又金も無し

信州大学 ばたばた

昭和61年10月19日 AM7:00

外は雪です。今シーズンの初滑りをこれからしてきます！今回は会社の友人を2人連れてきました。昨晚はいつものように痛飲吠歌！酒池肉林！
PS 小屋合宿ごくろうさまでした。

私はムトウ先生の会社の同期のスズキです。(1級です)毎シーズン、カナダバンフに行っています。車はランドクルーザーです。今日は雪が降っていますが全く心配御座いません。では何時の日か。
私はムトウ氏の同期の桜 平井君です。小さい頃からスキーにしたしみ海外はカナダ、ニュージーランド、オーストラリア etcへ行っています。日本もこれから本番ですね。今年は日本の冬を北海道で過ごすつもりです。・・・それではみなさんガンバッテ！すばらしい山小屋また来たいです。

昭和61年11月2日(日)

大村泰宏 (26th)

きのう来ました。ほんおつは今日笹ヶ峰から火打え登るつもりでしたが、朝寝坊のためあきらめました。今日は10時ころ小屋を出て苗名滝を見た後笹ヶ峰でラーメンを作って食べ昼寝していました。苗名滝の方は効用がちょうど見頃でとてもきれいです。久しぶりの小屋ですがとてもきれいになってびっくりです。小屋合宿ごくろうさまでした。でも、きのう寝ているとねずみが走り回る音がきこえてました・・・。

28キ29キのみなさま、L養は無事終了したのでしょうか？みんな忙しいのに悪いなーと思っていたのでこっそりよさせてもらおうと思っていたのに来るときに三沢上町の駅まで・・・という格好でヨタヨタ歩いていたら29キの長沼君に追いつかれてしまいました！なんか私がザックしょって歩いていると必ずワンゲルの人に出会ってしまう。な・・・なんて思うのは終ろめたさから来る被害妄想なんでしょうね。だんだんそういう考え方をしないように育ていけそうな気持ちにここに来てなれたように思います。小屋も苗名滝も笹ヶ峰もみんなみんなとてもなつかしいです。あこがれの妙高にもそのうちきっと登るぞ。

なぎさちゃん、小屋ほんとにとってもきれいになっててスゴイ！ご苦労さまでした。岡本君にも会えたり紅葉も見たし・・・。今度はお正月のころスキーをしに大村さんの友達の方々といっしょにまた泊まらせて

いただくかもしれません。どうかよろしく。

黒川 利華

ひえっ食料だなをねずみさんが駆け抜けて行ったよ～

昭和61年12月31日

8:50

今小屋にいるのは

27th (4年) 池野元氏

28th (3年) 大庭也寸志氏

29th (2年) 長沼克拓氏

30th (1年) 宮崎秀樹氏

の4人。うまいぐあいに1年から4年まで1人づつという構成です。たった今、今年のレコード大賞が中森明菜に決定した所です。泣きながら歌っていました。今晚はおでんをつまみに「妙高山」の熱カンを飲んでます。今から紅白を聞いて年を越します。ちなみに外は雨です。とんでもない大晦日です。では3時間五の1987年になってまたこの日誌を書きます。

大庭

昭和62年1月1日

たった今、S62年が明けました。昨年はいろいろな事があって本当に忙しい年だった。今年は自分にとってもワンゲルにとってもいい年になりますように願って。
27期 池野元

小屋で年を越すのは最高だぜー

昭和62年うさぎ年です。小屋の年越しは本当にいいものです。年越しそばを今食っているけど小屋で食うのは最高です。私はほとんど酔っています。とにかく今年一年がいい年でありますように。

28th 大庭也寸志

年が明けた。

29th 長沼克拓

とうとう小屋で年越しをしてしまった。12月24日に入って以来、毎日スキーをして、最初に入った仲間をみんな帰ってしまった。現在気温7度で雨が降り時々稲光がして風が強い。今年の抱負。やっぱりなんにでもぶつかってみるしかないことか。

30期 宮崎

昭和61年1月5日

鴨志田岳志 (22キ)

鴨志田周子 (24キ) (旧姓 太田)

早川恭二 (24キ)

現在この3人が小屋に入っていて1月7日に帰る予定です。夫婦の中にとんでもないグループでやってきました。私(早川)は毎年スキーシーズンに顔を出しているののでたいして代わりばえのしない小屋ですがこ

ういうグループで来るとまたちょっと違った雰囲気
いいものです。

今夜中 11 時頃ですが夫婦とも軽い寝息をたてなが
ら幸せそうな顔をしている、しょうがないので私は
酒を飲みながらこれを書いている次第です。

今日は杉野原の第三ゲレンデのアイスバーンを特訓
を積んで来たけれどまだまだ、という感じでスキーの
奥の深さを痛感した。

また一緒にクラブをやってきたやつがクラブの先輩
と結婚して仲良くやっている姿を見ると、また違った
面でクラブの思い出が思い出され懐かしく思う。

欲求不満の早川でした。

大村、黒川利華、幸せになれよ。

〇〇〇、×××もな。

昭和 62 年 1 月 6 日

鴨志田岳志

1985 年 2 月以来、久しぶりに小屋に来ました。小屋
の中に入ると何もかも（？）前のままと感じてな
つかしく思いました。（PENTION NAEN
A・・・にはおどろいたけど）

本当は、夫婦 2 人で来ようかと思っ
ていましたが気がついてみると、3 人でこたつには
いっているのです。まあ、早川君は我が家の準家
族みたいなもんだけど。久しぶりの小屋の生活で
思ったこと。

①ナベ類はためには新調しませんか。

財政困難なら、なべの 1 つくらいカンパします。

TEL 下さい。やかんでお湯をわかしてコーヒ
ーを飲んだら、何とも言えない味がした。なべで
お湯をわかしたら、お湯が濁った。

②ガスコンロも新調しなくて大丈夫かな。小屋
を火災から守りましょう。

③石油ポンプに穴があいているので、新しい物
を買いました。（早川君のてが石油臭くなるので）
何という後輩思い！！

明日帰ります。また、来ます、よろしく。

昭和 62 年 1 月 15 日～18 日

11 期 安藤貞利

久しぶりに小屋に行ってみようと思
い立ち、帰ってみたが、10 年前とほとんど
変わりなく（変わった点と言えば、ダルマ
ストーブがなくなり、こたつと石油ストー
ブになった位だろうか？）安心した。今
シーズンはゲレンデよりも山へ入ろうと、
去年の 12 月初めて天神平に続いての山
スキーであったが雪が少なく思った程滑
れず、その分をゲレンデで滑ってしまった。
小屋は多少寒いけどテントに比べれば天
国そのものでこれからも来ようと思っ
ている。

記録

昭和 62 年 1 月 16 日（金）快晴

前々日降った雪が出林道にはトレースが
全くなし。快晴の元一人で三田原をめざ
して 7 : 15 出発。

スキーはイエティ。ビンディング、チ
ロリアンステップイン。

7 : 15 小屋

8 : 40 池の峰 池の峰の登りで直接、
尾根へとりつく。これは尾根づたい
ではなく、尾根直下の谷ぞいに入る
べき。

10 : 30 1600m 地点。池ノ峰から
続く尾根ではなく 1 つ右手（下から
見て）にとりつく。始めきつ
いが 1600m よりゆるやかになる。

12 : 30 1839m 地点。1800m 位
で、左手の沢を渡り笹ヶ峰の見え
るところで昼。ここで三田原登頂
はあきらめ笹ヶ峰へ

15 : 00 笹ヶ峰 下る。笹ヶ峰へ
は木立の少ない所を滑るが、雪が少
なくほとんどヤブこぎの感じ。来
た道を滑った方が良かった。

16 : 00 小屋 笹ヶ峰からはシール
はつけず足を固定しない状態で歩
く。途中池の峰の登りに少し時
間がかかる。

今年は雪がゲレンデでも 1m 位しか
なく、雪不足の感じで、山スキー
には少し早かったかもしれない。

*長クツのかかとかぎれていたの
で、新しい物を買ってきました。
使ってください。

昭和 62 年 3 月 10 日

28 t h の主将だった山本です。昨
年は O B の方々にいろいろとお世
話になりまして・・・どうもありが
とうございました。その後現役の方
も 29 t h を中心に頑張っています。
30 t h も Powerfull (?) で、男
だけのワンゲルになりつつあるの
ですが・・・・。遭対、雪上ツア
ーも無事に終わったようで、後
はスキーをして帰るだけ、しか
し、執行部を終えて試験のあけ
に小屋でスキーをやりとると
たんに体力の低下を感じます
ね。まだまだ若いはずなんだ
けど・・・・12 日の夜行で帰
る予定です。（また 3 月下旬に
来るかも・・・）P. S. もう
「おまた」とは言われない！！
（と思うんだけど・・・）

昭和 62 年 3 月 12 日

なえな小屋の主人に就任した 30 t h
山田です。小屋はワンゲルの宝
です。みんなで大切につかいま
しょう。

昭和 62 年 3 月 12 日（木）

上記の山本主将のあとを継いだ 29
期主将の禪知明（ゆずりともあ
き）です。中国人でも朝鮮人
でもありません

ん。純日本人です。生まれだけはU. S. A. のシカゴです。一浪なので21才ですが、5月23日?24日(時差があるのでシカゴ23日、日本は24日なので)には22歳となりますが、まだ工学部物質工学科の新3年です。ま、よろしく。

今回小屋では遭難対策合宿と言っても、渡渉と雪上歩行とロープワークと雪洞作りしかやっていません。それと雪上ツアーを行いました。笹ヶ峰の京大ヒュッテ前にテントを張ったのですが、猛吹雪で雪洞内も雪で埋まり、なかなかスリルがありました。が、今後課題が多く残ることになりますでしょう。

小屋と言えはひとつにはスキー。私はまだボーゲン程度ですが頑張ってお上達しようと思います。今年ナイターまで滑って「妙高」で帰ります。

岡本さんの写真の前のグラスはボストンクラブについてきたものです。先輩にピッタリだと思うので捧げます。

これから小屋へ入る人へ。

食料がかなり残っているので使ってください。スプライトもあります。では

P. S. ストープは階段の下の4台が使えます。

昭和62年3月12日

今日で小屋とおさらばです。小屋の主の山田君5月までお元気で。 30th 北林

昭和62年3月23日 23期 ムトウヒデジ

会社の友人 スズキヤスヨ (スキー1級)

3月期末の忙しさを2晩連チャンの徹夜でやっつけやっつと、そうやっつとの感じできました。

最近山に入ったのは86年8月のカイコマ、仙丈それからまったく行ってない。カヌーは何度かやったが、あとは心わきおどるような活動からはなはれて仕事とふりまわせれタイダな生活を送っている。いかん、本当にいかん、この春の山小屋、随分昔からみなれていたはずの風景にも感動をおぼえてしまいました。先輩諸兄、同期のみな、後輩のみんな、天気はワイルドに、心わきおどるような体験をつんでいますか?また、ここで酒を飲み山へ行きそして話したいですね。ということで、いやに感傷的になりましたがここで87年の目標

①山スキー→巻機(4/11. 12)→体がもつか心配です。

②カヌー→できれば5月に釧路川、そして10月ころまで月1回いきたい。

③仕事はてきとうにやる.....

ムトウ氏の友人のスズキです。本山小屋は今回で2回です。しかし雪が積もって1回目とは全然違う風景に

感動してしまいました。今度は夏に来てみたいです。P. S. 妙高高原は非常になだらなでスキーのスキルUPとエッジのサビ落としには充分でした。では皆様1987年をアクティブにかつアグレッシブに生きましよう。

昭和62年4月1日~2日

渡辺ゾンビ瑞樹

今回のメンバーは28thの直井君、荒木地サン、山本君、黒川サン、芳賀君とゾンビの6人です。今年度最後のスキーを楽しむべくの来妙ですが積雪90~120cm位でシャーベットということで少々厳しいものがありました。

昨晩は岡本のビールまでいただいてしまい大ヒンシュク。暴れてはいないのでご心配なく。うわさよりは立派な小屋で中も結構温かく何も働かなかったためなかなか快適な山小屋ライフ(?)を送れました。また機会があれば小屋のお世話になりたいです。それでは

昭和62年5月2日

24キ 岡田拓

今AM3:30。1時間ほど前に同期の早川氏とともに小屋に入りました。卒業以来3回目の小屋です。今回は春スキーをやり火打に登ろうとアルペンスキーをもってきました。天気予報によれば天気は下り坂だそうですが、空はド快晴ひさびさの天の川。

今回の山行の目的は

①日頃の運動不足のかいしょう。はらが出過ぎてしょうがない。

②すきーをする。

OBからの一言

ブタピカのガスがない〜。ちゃんと買っときなさい!!

我が24期の人々も今や全国ちりじりになって名地でほそぼそと生きているようですが近況報告をします。

1、横山周子:27歳一番乗り(4/2生まれ)銀座でOLやってる。おむこさん大募集中。

2、早川恭二:上星川在住。フリーアルバイター。別に壺を売ったりしてません。

3、北沢浩二:長野市在住。銀行マン

4、浦野雅代:設計事務所ではたらいている。

5、木宮聖至:千葉県にいる。9月およめさんもらいます。

6、大津真嗣:北九州在住。鉄は国家なり。5月結婚します。

7、安藤利光:渋沢にいます。新練の帰りにおたちより下さい。

8、丸山活輝:大阪にいます。ミナミでキャバレーいってます。松下ケイコ(26キ)と結婚予定で一す。

- 9, 佐々木ひろみ:先生。今年も夏にパキスタンに行きます。よって今年も結婚できません。●●氏といろいろあった。
- 10, 酒井文隆:セイコーでコンピューターやってる。松本にいます。今度PC9801のマガイ物を作りました。
- 12, 都留賢二:瀬谷在住。京セラで女の子とあそんです。
- 13, 田沢充康:よめ一人子一人豊橋に帰りました。
- 14, 山田俊樹:4/19オフィスラブで結婚しました。新婚旅行はモルジブです。
- 15, 鴨志田周子:鴨志田となり3年ぐらいたちます。最近オッパイが大きくなったと言われるんです。中学校で先生してます。
- 16, 岡田拓:サラリーマン。いなかぐらしをしています(栃木です)あおかわらず早川とあそんでいて進歩がありません。

筆責 岡田

今年2度目の苗名小屋宿泊となった。一眠りして笹ヶ峰から黒沢ヒュッテに登るつもりでいる。今年の連休も妙高高原駅前から黒沢ヒュッテまでヘリコプターが飛ぶみたいなので、頭の上をヘリコプターが数往復することでしょう。本来僕もそれに乗って楽をしたいがなにせ金がないのと一緒に来た奴が「体を絞るために山にのぼるんだ」とか言っているのだから、スキーかついでピッケル持ってアイゼン持って荷物ガチャガチャ持ってへいこら歩いてい登らなければならない。ところで大学1年の時勝った生協のセットスキーを持って登ることになっているのだが、このスキーはすぐに曲がる。スピードが出ない。重量が軽い。まっすぐ坂を登れる。いつでもたき木に出来るなどの長所を持っており、山スキーの時をもってこいである。実は去年の連休は白馬岳に行って大変な思いをした。

24th 早川

昭和62年5月3日

取り敢えず小屋に着いた。半日で410,5km運転。眠い〜〜。

29th 禅知明

昭和62年5月4日

ブタピカの替えを買ったのですが、横浜においてしまいました。8月までに来られた人がいたなら、すいませんがろうそくで我慢しておいて下さい。油もないので、よろしくお願ひします。

小屋の柱は8月までには補修することになりました。4~5万円くらいでやってくれそうです。これで小屋の寿命もまた少し延びてくれることでしょう。

昭和62年8月18日(火) 雨

29thのface「顔」福島さんと2人で昨晚妙高高原駅に着き(松本の車で)車の中で寝たら例の駅前食堂のバイトの姉ちゃんがおもしろそうに見てた。

(スゲー恰好で寝ていたら)相変わらず小屋の中は汚い。ブタピカのカートリッジ20コ、ローソク20本←30th佐川が5月に忘れたやつを持ってきた。それが1つ。もう1つは待望のNewふとん登場。謹呈、敷き布団1枚、掛け布団1枚、座布団8枚、毛布6枚。これはすごい寄付だぞ。全て洗濯してあるから今のうち清潔。ま、大切に使って下さいな。

29th主将 禅知明

P. S. 小屋の柱の修理はまだのようです。